

第20回

次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺の まちづくり市民検討会 ～まちづくりWG～

令和4年7月31日



今回のまちづくりWGの進め方について

前回のまちづくりWGでは、デザインマップにより描かれた「検討が必要な場所」を中心に「どうしていききたいか」「どうやって取り組むか」などを検討し、その上で「その他の検討が必要な場所」も検討し、最後にマップへ反映しました。

今回のまちづくりWGでは、前回の振り返りと「これまでの検討結果から見えてきたもの（中間まとめ）」を踏まえ、これまで出た意見やアイデアを振り返って、取り組みたいことをまとめます。

また、「まちづくりのコンセプト」など、まとめのイメージ共有と、これに対する意見を出し合います。

※今回のワークは、ワーク1（小グループ→WG内で全体共有）→ワーク2（小グループ→WG内で全体共有）という流れです。

※小グループは三人又は四人一組で編成し、テーブルを分けてワークを行います。

①ワーク後の状態 (模造紙) → 新たなキーワードへの変換

利便性

全ての人が心地良く行き来できるまちづくり	13	北口と南口をつなぐ道路が必要など北口と南口のネットワークを強化する	15	ソフト面で良いものを残して悪いものを更新していく、新しいニーズに合うようなこと	9
時代のニーズに合わせた変更が必要	10	各施設の利便性の向上を誰もが実感できる街づくりを考えたい	12	各施設の利便性の向上を実感できる街づくり	7

交通問題
自転車置き場の検討

コアのコンセプトが決まっていなくて何をどこに置くかというだけの議論になり、それはまちづくりではない

ここしばらくは北口にも公民館が必要な状態

次世代にひきつぐのは再整備×××再開発

経済的に豊かでも一部の者のためだったり騒々しいばかりで落ち着いて住めないまちはいやだ

「豊かさ」と「利便性」とはちがう

図書館の建物は残したい

知らなかった施設を知れる、気づく。外から見ても楽しそう

跡地の活用

北口と南口の関係、つながり

お金かせげないとなりたない

多世代交流

駅から「緑」が広がる南口	鹿沼公園をはじめとした自然を保全しながら、景観や安全・安心、バリアフリーなどに配慮したまちにしたい	5	南口は住宅地として、①緑のあふれるまちづくり ②住みやすいまちづくりを考える	1	現状維持(徐々にバージョンアップ)、各世代それぞれの居場所があるまち	8	南口:緑豊かな公共施設街、憩いの場の維持	9
空の広さを残す	緑は残す、整える。木のバランスもとりながら維持管理	11	自然や文化などの淵野辺らしさを大切に	5	南口は研究機関や博物館、公園、公共施設があるので文教地区としてのカラーを全面に出したまちづくりにしたい	7	北口:商業的賑わいの維持	8
南口ロータリーの景色は美しいもう他の鉄道駅には残っていない(昔はどこにでもある風景だった)								

高齢者+若者も楽しめる施設

ゆるやかなつながり

コミュニケーション

利用者や利用目的を意識した、子どもから大人まで交流できるような空間づくり	16	南口、北口からも利用できる、人々が集まり憩える場所	9	地域コミュニティの場としての公民館の利便性の向上	1	異年齢でも交流できるような居心地の良い空間(居場所)作り	2	駅に近い立地条件を活かし、老若男女問わず、様々な年代の方が利用する施設が望ましい。また、市主導より、民間・市民・団体が中心になるのが理想	3	他施設とのコラボや子どものつながり、居場所、空間、防犯といったところで、コミュニケーションを取りながらやっていく	8	公園を中心に地域の色々な団体(地区社協、南口商店会、学生、子育て支援団体等)とコラボしたイベントが開催できたり、人と人との交流の場があり、地域コミュニティの活性化が図れるような公園であってほしいです	14		
人が更に多く集まれるような施設になれば良いと思いました	12	中学生が気軽に集える場所を作してほしい	8	公園の中にコミュニティスペースがあることで、世代間(子育て、若者、高齢者)をつなぐ	5	多世代交流が地域で暮らす多様な人と生み出す工夫をしてほしい	6	南口の魅力・ブランドは、駅の近くにある広い公園及び公共施設がそろうていること。これらを毀損することなく利便性を高め、利用する人たちの思いを実現する	6	お祭りやイベントに使える多目的の広場や芝生公園	4	子ども大人も使える施設	10	公民館と児童館一体化 異世代交流できる場所	13

個性・特色

南北を考えると、公共施設のバランスと商店街活性化が必要	3	北口は商業地区として、魅力あるまちづくりを考える	1	子どもから大人まで交流できるスペース	15	南口・北口ともに淵野辺駅として住民にとって住みよいまちづくり	2	北口は商店街としてのカラーを大事に	6
人がつながることで文化的に発展していくまちづくり	2	全ての人が利用しやすいカフェがあり、どの駅も同じような感じではなく、「ならでは」な雰囲気理想	4	外国人の住民が増えているので、住みやすさもポイント	9	誰にでもやさしい街づくり	15	安全でやさしい雰囲気のまちづくり	6
「豊かさ」と「利便性」とはちがう		新しいまちになりつつも、良い文化は残していきたい	10						

生活環境

子ども大人も使える、楽しめる施設	3	多くの人に来場してもらえること、近隣の大学生が経営を学ぶことができるスペースがある場所	1	公園内の制約を少なく、雨・風・寒さをしのげるような休憩場所カフェなど	4
------------------	---	---	---	------------------------------------	---

追加した付せん

事務局でピックアップしていなかった意見カード

②ワーク後の状態 (事務局で整理) ← 事務局でワーク中の意見を整理

○ゆるやかなつながり … コミュニティ (多世代交流)

- ・北口と南口の関係・つながりやすさ、人と人、地域と地域 ・次世代に残す
- ・広場 (遊憩所機能)
- ・商業はどこまで? (北口と南口に求められるもの)
- ・高齢者、線路を跨ぐのが大変 (一定程度の店・規模)
- ・財政負担
- ・まちのにぎわい、人の動き
- ・まちづくりの視点から見た
コミュニケーション、公共施設、公園について



検討に当たってのキーワード

○ゆるやかな繋がり

※多世代交流、コミュニケーションからの変換

※北口と南口、人と人、地域と地域
…それぞれのゆるやかな繋がり・関係性

【下記はワーク中の意見】

●まちづくり

- ・「賑わいのまち」か「落ち着いたまち」か
- ・賑わいを持つまちづくり (賑わいは南口も必要)
- ・寂れさせないまちづくりがあって、賑わいに繋がる
- ・北と南の単なる差別化ではなく「交流」でつないでいく
- ・まちづくりのカタチの中で浸透していること (公共施設に人が集まりやすい)
- ・緑を残すこと、駅前を守ること
- ・まちづくりは、施設が出来たら終わりではなく、その先も考えていく
- ・まちづくりでの景観は重要

●開発・建築のルール

- ・建物の配置や敷地の取り方によって変わる
- ・道路整備や歩道設置等の義務あり

●商業

- ・「商業」をどこまで考えるか (北口と南口に求められるもの)
- ・南口まちづくり協定 (1階は店舗)
- ・買物困難者 (高齢者等) は線路を跨ぐのが大変
- ・一定程度の規模の店舗は必要
- ・(地域の) 購買意欲に見合ったもの

●財政負担 (財源確保)

- ・商業の制限は財政負担に影響する
- ・財源が生み出せないと施設規模の縮小も有り得る
- ・施設で人流を生み出し、いかに稼ぐか (民間の視点)

●ハード面での意見

- ・跡施設 (建物) の取扱い、公園外周歩道の必要性、ロータリー等の再整備

●跡地

- ・次世代のための土地 (自転車置場・公民館敷地) を残す
- ・一度売却しまうと戻ってこない
- ・売却よりも定借が好ましい
- ・当面はトライアルで活用 (例: 何も建てない使い方) (北口と南口が繋がりやすい関係になれるように)
- ・広場を求める声あり (イベントや災害時での活用)

●コミュニケーション

- ・コミュニケーションの場の持ち方、どうあるべきか
- ・コミュニケーションから、公園や施設にどのようなものを求めるか

●交通・自転車・自動車

- ・自転車駐車場の場所、朝夕の自転車渋滞
- ・自転車駐輪場の位置を考える
- ・駅前には自転車がが多く、信号無視、違法な道路横断が多い
- ・交通規制 (一方通行等) によるコントロール
- ・施設再整備後の影響による新たな問題発生 (駐車場不足、違法駐車)

●その他

- ・何を大切にしていくか、何を残していくかを優先順位付け
- ・人の活動、人の動き (流れ) を意識した議論が必要

① 「ワーク1」で出た意見を事務局で整理

小グループ1

●道路、公園、景観

- ・交通を改善（一方通行の指定）することで動線（流れ）を良くする
- ・車がそれなりに通る道、歩行者が歩きやすい道、景色を見ながら楽しんでいける道、緑がある道に分けられる
- ・駅に近いので施設利用者の割合は歩行者が多いのでは。動線は歩行者を優先に考える必要あり
- ・一体的な土地利用に当たって、既存道路（図書館と公園の間）がネック（他自治体では道路を無くしているケースあり）
- ・駅南口から公園までの突き当りに出入口が必要（公園内にスムーズに入れるように）
- ・公園に新たな出入口を設置すると、場所によっては既存管理棟に当たる可能性あり
- ・ジョギング、健康づくりのための公園の周回道路が必要（一方通行の工夫も要検討）
- ・駅南口から施設が確認できる状態をつくりたい（公園が見えやすい、見通しが良い動線が大切）
- ・駅南口から歩いてくる道は、曲がらせることで周りを魅せる道

●商業

- ・まちの購買力は高くなく、駅前通りは車は多いが店舗利用は歩行者がメイン

●自転車駐車場

- ・駅の一等地にあるため、別の利用価値（商業）も考えられる
- 駅南口ロータリー
 - ・駅南口に降りた施設利用者がロータリーがあるため遠回り。直線の動線を考えられないか
 - ・老朽化した自転車駐車場の場所にロータリーを移設し、駅から直線でアクセス可能な道の整備も一考（車、自転車、歩行者が交錯しないよう安全性の面からも）

●自動車駐車場

- ・設置場所や入口・出口の場所によっては、地区内の道路が渋滞し、円滑な通行を妨げる恐れあり
- ・自動車と歩行者が交錯しない動線の検討が必要（施設の出入口から遠い場所に設置するなど）
- ・駅に近いが車で来る方もおり、一定の駐車場は必要

●災害

- ・施設の老朽化対策は、次世代に引き継ぐ災害に強いまちをつくるために必要。市民サービスの継続は大きな責任

小グループ2

●道路、公園、自動車駐車場

- ・国道16号から自転車駐車場へ向かう道は自転車が多い
- ・淵野辺駅南口から鹿沼公園までの道は路上駐車が多い（一方通行にすれば、スムーズになるのではないかと）
- ・公園の外周に自転車を通れる道ができれば、園内を勢よく通過する自転車がなくなる
- ・公園の南東側の角に歩行者が入れる入口を作れば、自動車・自転車が多い車道を通らなくてよい（⇨角に入口を作るのは危ないか）
- ・図書館、公園の駐車場が少ないから、道が混むので、駐車場を増やせばどうか（⇨有料にすることで解決できないか）

●まちづくりセンター

- ・まちづくりセンターは、駅南口周辺の住民のためだけでなく、大野北地区の全ての住民のためである
- ・公園内に設置するには、立体都市公園という手法が必要

●自転車駐車場

- ・駅前にあるから便利だが、その場所がゆえに生じる問題もある
- ・公民館跡地を駐車場にしたらどうか
- ・定期利用者は駅から離れても安全に使いたい
- ・一時利用者は駅前にある方が便利

●駅北口

- ・車で南口にアクセスしにくい
- ・人口は増えている

●駅南口

- ・駅南口にデッキを作れば、北口から公園・新たな施設へのアクセスも良くなる

●その他

- ・それぞれの立場に立った意見があり、議論を通じて、どのような課題があるか、おおよそ共有できたのではないかと

まちづくりWG内での共有

<小グループ1の発表>

- ✓ 複合施設が駅から確認して行ける位置にあると良い
- ✓ 公園の出入口の場所の変更や増設の検討
- ✓ ロータリー、自転車駐車場の位置の検討
- ✓ 大きな商業施設より小さな店舗、楽しみながらお金を落としてくれるまちがいい
- ✓ 自転車駐車場は駅利用者にとって利便性の高い位置にあるが、ロータリーの位置検討となると、自転車駐車場の位置も検討しなければならない
- ✓ 公園の外周にジョギングロードができればいい

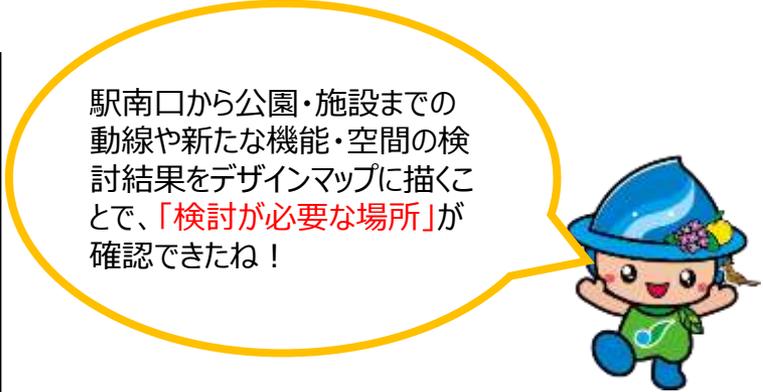
<小グループ2の発表>

- ✓ 国道16号方面から自転車駐車場へ向かう2本の道は、自動車・自転車・歩行者が多い
- ✓ 公園の中に入れば安全
- ✓ 公園の外周の歩道は、新しくマンションができたところしかない
- ✓ 駅北側にも大野北地区の住民が多いため、北口からアクセスしやすいまち
- ✓ ATMがあるところに路上駐車がが多い
- ✓ 公園の外周に自転車を通るところがあれば、公園内の安全と周辺道路の通りやすさ両方が改善できる

② 「ワーク2」で出した意見を事務局で整理

ワーク2 <全体>

- 駅南口から公園までの道
 - ・ 直線にした方がアクセスは便利
 - ・ 公園の木が見えればいい
 - ・ デッキを造る
 - ・ デザインが大事
 - ・ 一方通行にすると車を運転する人は困らないか
- 公園の周囲
 - ・ 周囲に歩道と自転車が通れる道、ジョギングコースがあればいい
 - ・ 出入口の検討
 - ・ 道が広がって車の通りが多くなると困る
 - ・ 自転車が通れる外周を造り、公園内にスピードがある自転車が通らないようにしたい
- 自転車駐車場
 - ・ 駅から離れると、路上駐輪が増える
 - ・ 他の駅は遠いところにある
 - ・ 別の場所に移して、現在の場所を別のものに使用する
 - ・ 老朽化している
 - ・ 現地建替は財政的に負担も大きい
- 国道16号から自転車駐車場までの2本道
 - ・ 車も自転車も歩行者も多い
 - ・ 歩行者は車・自転車に注意しながら通らないといけない
 - ・ 朝に自転車が、夕方も多い
 - ・ 自転車駐車場が現在の位置にあるため課題が生じている、移転すれば解決するか
- その他
 - ・ 北口からのアクセスの工夫
 - ・ 課題解決のためにも跡地活用のアイデア



淵野辺駅南口周辺 ~デザインマップ~

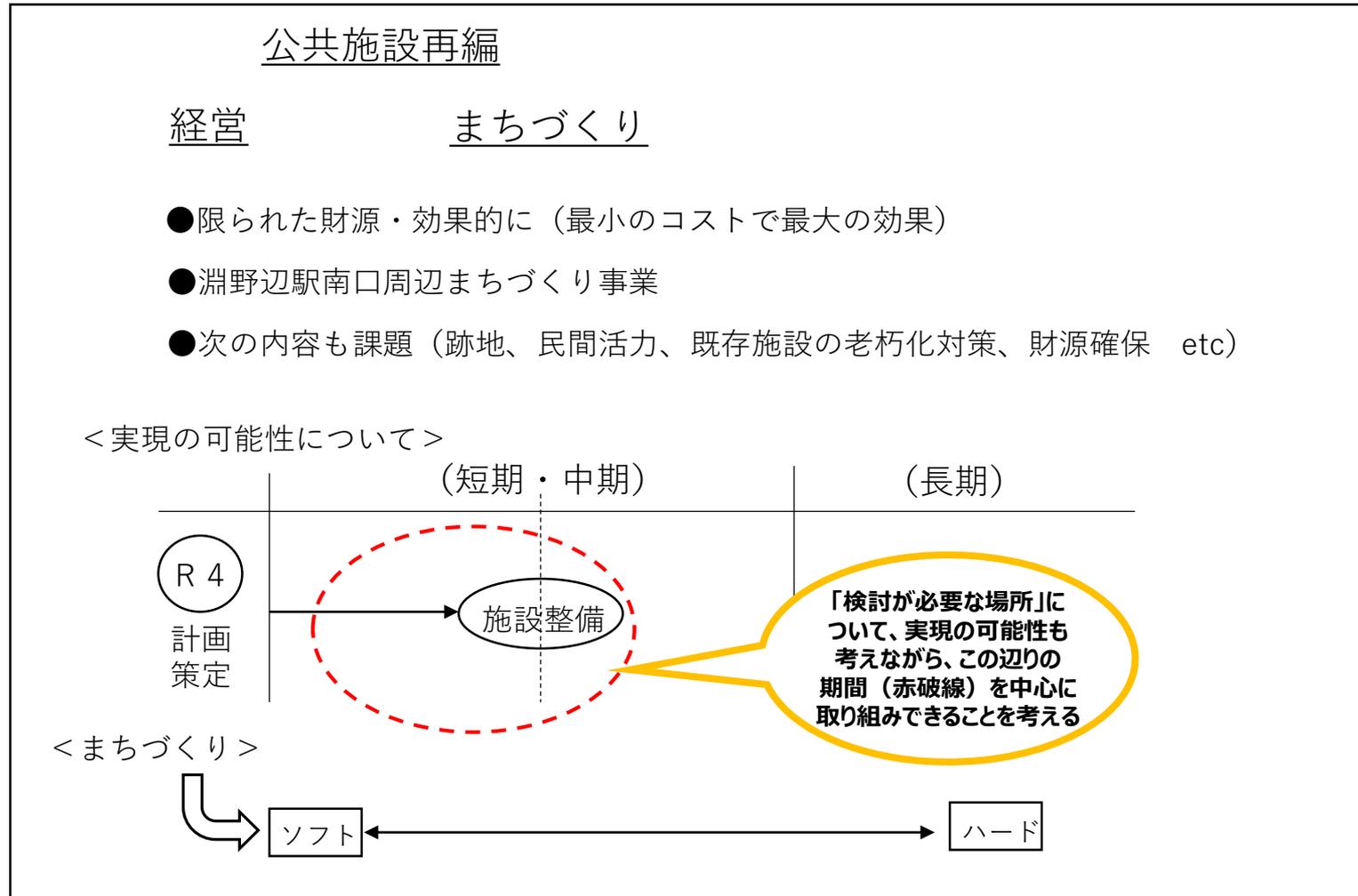


③ ワーク後の状態 (手書きのデザインマップ) ←事務局で以下のように整理



① 「ワークの進め方」を事務局から説明（事務局がホワイトボードに記載）

【ホワイトボード】



② 「検討が必要な場所」の検討結果 (事務局で整理)

デザインマップの「検討が必要な場所」										【小グループ】	
駅南口ロータリー付近と自転車駐車場		駅南口から公園までの見通し・アクセス		駅南口への2つのアクセス道路 (渋滞時の歩行者と自転車の混在)		公園内の通路等の必要性		移動のしやすさを考慮した公園内の新たな出入口の検討		駅南口から見える公園内の工夫 (景観形成・新たな出入口の必要性)	
どうしていきたいか (理想、方向性)	どうやって取り組むか (方法、手段)	どうしていきたいか (理想、方向性)	どうやって取り組むか (方法、手段)	どうしていきたいか (理想、方向性)	どうやって取り組むか (方法、手段)	どうしていきたいか (理想、方向性)	どうやって取り組むか (方法、手段)	どうしていきたいか (理想、方向性)	どうやって取り組むか (方法、手段)	どうしていきたいか (理想、方向性)	どうやって取り組むか (方法、手段)
実現のためのポイント		実現のためのポイント		実現のためのポイント		実現のためのポイント		実現のためのポイント		実現のためのポイント	
ロータリーの必要最低限の再整備	公園までの見通しを良くするため、ロータリーのレイアウトを検討	公園への視認性の確保のため図書館敷地には建物建てない	デザインを複数検討	駅前駐輪場を駅から遠ざけても、この問題は解決しないだろう	—	3つの用途のコースを設置	段差がなく、水はけ、ゴムチップ	施設配置により判断	利用者アンケート	公園入口を変更する (正面に) スマートな人の流れ	デザインを検討
駐車場は現在地で建替え	公民館跡地を仮設で利用	歩きたくなる導線づくり	歩道にしかけ ex.子ども (地元の小学校など) の作品展示・・・?	朝夕の危険・不便をなくしたい 自転車多くてなかなか右折できない	朝夕の交通規制? 可能なら	外周をつくり、交通も、健康も	問題: 歩行者・自転車利用者の安全性 → 自転車利用者 路面で案内	公園内の通路とあわせて考えたい	—	公園の魅力が伝わる案内板の設置	・利用者の多い駅前に設置 ・ex. 「公園内歩くときかん3個消費できる」 ・外からアプローチする「行きたい!」と思うような
「風景」の価値を人々に認識してもらいたい	便利さ、能率を追求しすぎない	歩きたくなる道	一番は安全な道、ゆっくり歩ける道とは?	—	—	周回道路に自転車レーンを置く必要性はあるのか?	—	鹿沼公園の「奥深さ」を損なわない	能率や効率を追求しすぎて、せつけいをしない	—	—
安全性の確保	○駅前高い木があるとこ → フットライトの設置 ○駐輪場前 → 歩行者・自転車利用者わける	—	—	—	—	必要なのは外周なのかもっと考えたい	地元の現状を関係者がよく知る	—	利用者や周辺に住む人が何の目的で公園に来ているか調査	—	—
駐輪場の場所はそのまま、建替え時のデザインで使い易さ台数増を確保	建替時仮設は、公民館・児童館の跡地を利用することで用地確保と駅近を実現	—	—	—	—	—	公園の出入口の場所を改めてどこがいいのか考えてから園内をどう抜けられるか考えられないか	今でている案だけでなく、他の可能性もあるのでは?	—	—	—

以下の付せんに書かれた内容を「表」にして整理しています。

その他
○公民館跡地
○図書館敷地 (一部)

●どうしていきたいか (理想、方向性)
●どうやって取り組むか (方法、手段)
●実現のためのポイント

③ 「その他の検討が必要な場所」の検討結果 (事務局で整理)



④-① 「ワーク1」で出た意見を事務局で整理

<p>● 駅南口ロータリー付近と自転車駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 淵野辺駅第2自転車駐車場ができて放置自転車が解消された ・ 木が多く夕方、夜は暗い印象 →安全に通れるように通路の脇にフットライト ・ 自転車駐車場近辺が歩行者と自転車の交錯のリスクが高い ・ 建替時に使いやすさや台数増を確保できないか ・ 視野の確保に拡張・再整備が必要だが、必要以上の拡張は路上駐車に繋がる 	<p>● 駅南口から公園までの見通し・アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな土木工事ではなく、ちょっとした工夫で何とかならなら、失敗してもやり直しやすい ・ 道自体に楽しめる工夫があったら良い ・ 現在の図書館駐車場に建物が建たなければ視認性が高まる 	<p>● 駅南口への2つのアクセス道路 (渋滞時の歩行者と自転車の混在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車が多いのはバスが時間通りに来ないからでは →交通全体の問題が絡んでくるのでは ・ 道幅を広げることで安全になるのか、よくシミュレーションする必要がある
<p>● 公園内の通路等の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よく検討してから必要性を判断 ・ ジョギングコースがあったらうれしい ・ 自転車を通る道を路面に表示して、安全性を確保できないか 	<p>● 移動のしやすさを考慮した公園内の新たな出入口の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の出入口が鹿沼公園の味わいを出している ・ 公園内の公共施設や広場などの配置による 	<p>● 駅南口から見える公園内の工夫 (景観形成・新たな出入口の必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺に公園の魅力が伝わるような案内板の設置 ・ 駅に来て公共施設、公園に行ってみたいと思う仕組みづくり ・ 公共施設が見えないと遠く感じてしまうのでは ・ 公園の出入口を駅からの正面に移動させることで、スマートな人の流れができる

④-② 「ワーク2」で出た意見を事務局で整理

<p>● 大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車駐車場を駅前に残す意見が多い →建替時に大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地を仮設の自転車駐車場として利用してはどうか ・ まちの課題を解決するソリューションゾーンにならないか ・ 売却してしまうと、まちのコントロールが難しい →民間に貸す場合の条件などについて検討できないか (条件を付けてしまうと民間が提案しにくくなる場合がある) 	<p>● 図書館敷地 (一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の出入口について、アクセスを意識して、駅から鹿沼公園までの道を直進したところに入口を作った方が良いという意見と、現在の出入口を維持し、ゆっくり歩いていただきたいという意見がある →今の図書館の駐車場の敷地に歩ける道を造れば、現在の公園の出入口のままでも良いのではないかと。また、視認性も高まるのではないかと。
--	--

第17～19回「まちづくりWG意見集計結果一覧1／3」＜凡 例＞

⑰…第17回まちづくりWGの意見
 ⑱…第18回まちづくりWGの意見
 ⑲…第19回まちづくりWGの意見

下線部分…ワーク中に付せん
 又はホワイトボード
 に記載された意見

	まちなかの検討項目 等	現状・課題／考え方・方向性 等	具体的な意見・アイデア	
			ソフト的な取組	ハード的な取組
-	まちづくりのコンセプト	①コアのコンセプトが決まっていないと何をどこに置くかというだけの議論になり、それはまちづくりではない ②次世代にひきつづけるのは再整備、×××再開発 ③経済的に豊かでも一部の者のためだったり騒々しいばかりで落ち着いて住めないまちはいやだ ④「豊かさ」と「便利さ」はちがう ⑤北口と南口の関係・つながり ⑥ゆるやかなつながり（多世代交流、コミュニケーションからの変換） ・北口と南口の関係・つながりやすさ、人と人、地域と地域・次世代に残す ・広場（遊憩所機能） ・商業はどこまで？（北口と南口に求められるもの） ・高齢者、線路を跨ぐのが大変（一定程度の店・規模） ・財政負担 ・まちのにぎわい、人の動き ・まちづくりの視点から見たコミュニケーション、公共施設、公園について ⑦「賑わいのまち」か「落ち着いたまち」か ⑧賑わいを持つまちづくり（賑わいは南口も必要） ⑨寂れさせないまちづくりがあって、賑わいに繋がる ⑩まちづくりは、施設が出来たら終わりではなく、その先も考えていく ⑪何を大切にしていくか、何を残していくかを優先順位付け ⑫人の活動、人の動き（流れ）を意識した議論が必要		
	駅南口ロータリー付近と自転車駐車場			
	ロータリー	⑬南口ロータリーの景色は美しい、もう他の鉄道駅には残っていない（昔はどこにでもある風景だった） ⑭緑を残すこと、駅前を守ること ⑮駅南口に降りた施設利用者がロータリーがあるため遠回り、直線の動線を考えられないか ⑯「風景」の価値を人々に認識してもらいたい（便利さ、能率を追求しすぎない） ⑰木が多く夕方、夜は暗い印象（安全に通れるように通路の脇にフットライト） ⑱視野の確保に拡張・再整備が必要だが、必要以上の拡張は路上駐車に繋がる	⑲安全性の確保（駅前高い木があるとこ→フットライトの設置）	⑲ロータリー等の再整備 ⑳老朽化した自転車駐車場の場所にロータリーを移設し、駅から直線でアクセス可能な道の整備も一考（車、自転車、歩行者が交錯しないよう安全性の面からも） ㉑ロータリー、自転車駐車場の位置の検討 ㉒駅南口にデッキを作れば、北口から公園・新たな施設へのアクセスも良くなる ㉓ロータリーの必要最低限の再整備（公園までの見通しを良くするため、ロータリーのレイアウトを検討）
①	自転車駐車場	⑲交通問題、自転車置き場の検討 ⑳次世代のための土地（自転車駐車場）を残す ㉑一度売却してしまつて戻ってこない ㉒自転車駐車場の場所、朝夕の自転車渋滞 ㉓駅前にあるから便利だが、その場所がゆえに生じる問題もある ㉔定期利用者は駅から離れても安全に使いたい ㉕一時利用者は駅前にある方が便利 ㉖駅から離れると、路上駐輪が増える ㉗他の駅は遠いところにある ㉘老朽化している ㉙現地建替は財政的に負担も大きい ㉚湖野辺駅第2自転車駐車場ができて放置自転車が解消された ㉛自転車駐車場周辺が歩行者と自転車の交錯のリスクが高い	㉞売却よりも定借が好ましい ㉟安全性の確保（駐輪場前→歩行者・自転車利用者わかる）	㉞自転車駐車場の位置を考える ㉟駅の一等地にあるため、別の利用価値（商業）も考えられる ㊱ロータリー、自転車駐車場の位置の検討 ㊲自転車駐車場は駅利用者にとって利便性の高い位置にあるが、ロータリーの位置検討となると、自転車駐車場の位置も検討しなければならない ㊳別の場所に移して、現在の場所を別のものに使用する ㊴自転車駐車場が現在の位置にあるため課題が生じている。移転すれば解決するか ㊵駐輪場は現在地で建替（公民館跡地を仮設で利用） ㊶駐輪場の場所はそのまま、建替時のデザインで使い易さや台数増を確保（建替時仮設は、公民館・児童館の跡地を利用することで用地確保と駅近を実現） ㊷建替時に使いやすい台数増を確保できないか ㊸自転車駐車場を駅に残す意見が多い（建替時に大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地を仮設の自転車駐車場として利用してはどうか）
	商業	㉞商業の深ぼり、距離、北口遠い、年代 ㉟「商業」をどこまで考えるか（北口と南口に求められるもの） ㊱買物困難者（高齢者等）は線路を跨ぐのが大変 ㊲（地域の）購買意欲に合ったもの ㊳商業の制限は財政負担に影響する ㊴まちの購買力は高くなく、駅前通りは車が多いが店舗利用は歩行者がメイン	㊵南口まちづくり協定（1階は店舗） ㊶一定程度の規模の店舗は必要 ㊷大きな商業施設より小さな店舗、楽しみながらお金を落としてくれるまちがいい	㊸駅の一等地にあるため、別の利用価値（商業）も考えられる

第17～19回「まちづくりWG意見集計結果一覧2/3」<凡 例>

- ①…第17回まちづくりWGの意見
 - ②…第18回まちづくりWGの意見
 - ③…第19回まちづくりWGの意見
- 下線部分…ワーク中に付せん
又はホワイトボード
に記載された意見

	まちなかの検討項目 等	現状・課題/考え方・方向性 等	具体的な意見・アイデア	
			ソフト的な取組	ハード的な取組
①	駅南口ロータリー付近と自転車駐車場 ・景観	①駅から「緑」が広がる南口 ②空の広さを残す ③緑を残すこと、駅前を守ること ④まちづくりでの景観は重要 ⑤「風景」の価値を人々に認識してもらいたい(便利さ、能率を追求しすぎない)	⑥駅南口から歩いてくる道は、曲がらせることで周りを魅せる道 ⑦駅周辺に公園の魅力が伝わるような案内板の設置	
②	駅南口から公園までの見通しやアクセスのしやすさ	⑧車がそれなりに通る道、歩行者が歩きやすい道、景色を見ながら楽しんでいける道、緑がある道に分けられる ⑨駅に近いので施設利用者の割合は歩行者が多いのでは。動線は歩行者を優先に考える必要あり ⑩駅南口から施設が確認できる状態をつくりたい(公園が見えやすい、見通しが良い動線が大切) ⑪複合施設が駅から確認して行ける位置にあると良い ⑫ATMがあると路上駐車が多い ⑬公園の木が見えれば良い ⑭デザインが大事 ⑮歩きたくなる道(一番は安全な道、ゆっくり歩ける道とは?) ⑯大きな土木工事はなく、ちょっとした工夫で何とかなら、失敗してもやり直しやすい ⑰道自体に楽しめる工夫があったら良い	⑱交通規制(一方通行等)によるコントロール ⑲交通を改善(一方通行の指定)することで動線(流れ)を良くする ⑳湘野駅南口から鹿沼公園までの道は路上駐車が多い(一方通行にすれば、スムーズになるのではないかと) ㉑一方通行にすると車を運転する人は困らないかと ㉒公園への視認性の確保のため図書館敷地には建物建てない(デザインを複数検討) ㉓歩きたくなる導線づくり(歩道にしかけex.子ども(地元の小学校など)の作品展示…?)	㉔直線にした方がアクセスは便利 ㉕デッキを造る ㉖現在の図書館駐車場に建物が増えれば視認性が高まる
③	駅南口への2つのアクセス道路(渋滞時の歩行者と自転車の混在)	㉗自転車駐車場の場所、朝夕の自転車渋滞 ㉘駅前には自転車が多く、信号無視、違法な道路横断が多い ㉙国道16号から自転車駐車場へ向かう道は自転車が多い ㉚国道16号方面から自転車駐車場へ向かう2本の道は、自動車・自転車・歩行者が多い ㉛車も自転車も歩行者も多い ㉜歩行者は車・自転車に注意しながら通らないといけない ㉝朝に自転車が多い、夕方も多い ㉞自転車が多いのはバスが時間通りに来ないからでは(交通全体の問題が絡んでくるのでは)	㉟駅前駐輪場を駅から遠ざけても、この問題は解決しないだろう(道を開く時はしっかり専門家を使って調査してから) ㊱朝夕の危険・不便をなくしたい、自転車多くてなかなか右折できない(朝夕の交通規制?可能なら、自転車の青信号の時間を変える(朝集中する時間帯)) ㊲自転車を通る道を路面に表示して、安全性を確保できないか ㊳道幅を広げることで安全になるのか、よくシミュレーションする必要がある	㊴自転車駐車場が現在の位置にあるため課題が生じている、移転すれば解決するか
④	公園内の通路等の必要性	㊴公園外周歩道の必要性 ㊵公園の外周の歩道は、新しくマンションができたところしかない ㊶出入口の検討 ㊷道が広がって車の通りが多くなると困る ㊸周回道路に自転車レーン(を置く)を置く必要性はあるのか?(地元の現状を関係者がよく知る) ㊹よく検討してから必要性を判断	㊺自転車を通る道を路面に表示して、安全性を確保できないか ㊻必要なのは外周なのかちょっと考えたい(公園の出入口の場所を改めてどこがいいのか考えてから園内をどう抜けられるか考えられないか)	㊼ジョギング、健康づくりのための公園の周回道路が必要(一方通行の工夫も要検討) ㊽公園の外周にジョギングロードができればいい ㊾公園の外周に自転車が通れる道ができれば、園内を勢いよく通過する自転車がなくなる ㊿公園の外周に自転車が通るところがあれば、公園内の安全と周辺道路の通りやすさ両方が改善できる ㊿周囲に歩道と自転車が通れる道、ジョギングコースがあればいい ㊿自転車が通れる外周を造り、公園内にスピードがある自転車が通らないようにしたい ㊿3つの用途のコースを設置(段差がなく、水はけ、ゴムチップ) ㊿外周をつくり、交通も、健康も(問題:歩行者・自転車利用者の安全性→自転車利用者、路面で案内) ㊿ジョギングコースがあったらうれしい
⑤	移動のしやすさを考慮した公園内の新たな出入口の検討	㊿公園の中に入れば安全 ㊿現在の出入口が鹿沼公園の味わいを出している ㊿公園内の公共施設や広場などの配置による	㊿施設配置により判断(利用者アンケート) ㊿公園内の通路とあわせて考えたい ㊿鹿沼公園の「奥深さ」を損なわない(出入口をかえない、能率や効率を追求しすぎて、せつけない shouldn't) ㊿今でている案だけでなく、他の可能性もあるのでは?(利用者や周辺に住む人が何の目的で公園に来ているか調査)	㊿公園の出入口の場所の変更や増設の検討 ㊿公園の南東側の角に歩行者が入れる入口を作れば、自動車・自転車が多い車道を通らなくてよい(⇒角に入口を作るのは危なくないかと)

第17～19回「まちづくりWG意見集計結果一覧3 / 3」 < 凡 例 >

⑰…第17回まちづくりWGの意見 下線部分…ワーク中に付せん
 ⑱…第18回まちづくりWGの意見 又はホワイトボード
 ⑲…第19回まちづくりWGの意見 に記載された意見

	まちなかの検討項目 等	現状・課題／考え方・方向性 等	具体的な意見・アイデア	
			ソフト的な取組	ハード的な取組
⑥	駅南口から見える公園内の工夫（景観形成・新たな出入口の必要性）	⑱駅周辺に公園の魅力が伝わるような案内板の設置 ⑱駅に来て公共施設、公園に行ってみたいと思う仕組みづくり ⑱公共施設が見えなくて遠く感じてしまうのでは ⑱公園の出入口を駅からの正面に移動させることで、スマートな人の流れができる	⑱公園の魅力が伝わる案内板の設置 ・利用者の多い駅前に設置 ・ex.「公園内歩くとみかん3個消費できる」 ・外からアプローチする「行きたい!」と思うような	⑱駅南口から公園までの突き当りに出入口が必要（公園内にスムーズに入れるように） ⑱公園に新たな出入口を設置すると、場所によっては既存管理棟に当たる可能性あり ⑱公園の出入口の場所の変更や増設の検討 ⑱公園入口を変更する（正面に）スマートな人の流れ（デザインを検討）
⑦	大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地	⑱跡地の活用 ⑱お金かせげないとなりたい ⑱財源が生み出せない施設規模の縮小も有り得る ⑱次世代のための土地（公民館敷地）を残す ⑱一度売却してしまうと戻ってこない ⑱課題解決のためにも跡地活用のアイデア ⑱まちの課題を解決するソリューションゾーンにならないか	⑱売却よりも定借が好ましい ⑱当面はトライアルで活用（例：何も建てない使い方）（北口と南口が繋がりがしやすい関係になれるように） ⑱広場を求める声あり（イベントや災害時の活用） ⑱売却してしまうと、まちのコントロールが難しい（民間に貸す場合の条件などについて検討できないか→条件を付けてしまうと民間が提案しにくくなる場合がある）	⑱公民館跡地を駐車場にしたらどうか ⑱自転車駐車を駅前に残す意見が多い（建替時に大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地を仮設の自転車駐車場として利用してはどうか）
⑧	図書館敷地（一部）	⑱公園の出入口について、アクセスを意識して、駅から鹿沼公園までの道を直進したところに入口を作った方が良いという意見と、現在の出入口を維持し、ゆっくり歩いていただきたいという意見がある	⑱今の図書館の駐車場の敷地に歩ける道を造れば、現在の公園の出入口のままでも良いのではないか。また、視認性も高まるのではないか	⑱現在の図書館駐車場に建物が建たなければ視認性が高まる
その他	駅北口	⑱北口と南口の間係・つながり ⑱車で南口にアクセスしにくい ⑱人口は増えている ⑱駅北側にも大野北地区の住民が多いため、北口からアクセスしやすいまち ⑱北口からのアクセスの工夫	⑱北と南の単なる差別化では無く「交流」でつないでいく	⑱ここしばらくは北口にも公民館が必要な状態
	跡施設（図書館）	⑱図書館の建物は残したい ⑱跡施設（建物）の取扱い		
	鹿沼公園・新たな施設	⑱まちづくりのカタチの中で浸透していること（公共施設に人が集まりやすい） ⑱施設で人流を生み出し、いかに稼ぐか（民間の視点） ⑱コミュニケーションの場の持ち方、どうあるべきか ⑱コミュニケーションから、公園や施設にどのようなものを求めるか ⑱施設の老朽化対策は、次世代に引き継ぐ災害に強いまちをつくるために必要。市民サービスの継続は大きな責任 ⑱まちづくりセンターは、駅南口周辺の住民のためだけでなく、大野北地区の全ての住民のためにある		⑱建物の配置や敷地の取り方によって変わる（開発・建築のルール） ⑱道路整備や歩道設置等の義務あり（開発・建築のルール） ⑱財源が生み出せない施設規模の縮小も有り得る ⑱一体的な土地利用に当たって、既存道路（図書館と公園の間）がネック（他自治体では道路を無くしているケースあり） ⑱公園内に（まちづくりセンターを）設置するには、立休都市公園という手法が必要
	自動車駐車場（鹿沼公園・新たな施設）	⑱施設再整備後の影響による新たな問題発生（駐車場不足、違法駐車） ⑱設置場所や入口・出口の場所によっては、地区内の道路が渋滞し、円滑な通行を妨げる恐れあり	⑱図書館、公園の駐車場が少ないから、道が混むので、有料にすることで解決できないか	⑱自動車と歩行者が交錯しない動線の検討が必要（施設の出入口から遠い場所に設置するなど） ⑱駅に近いが車で来る方もおり、一定の駐車場は必要 ⑱図書館、公園の駐車場が少ないから、道が混むので、駐車場を増やせばどうか

第17～19回まちづくりWGから得られた「まちづくりのコンセプト」への示唆

事務局で整理中の案

まちなかの検討項目に対する様々な考え方・アイデアなど

- * 公園内の外周に歩行者等も通れるジョギングコースなどが欲しい
- * 公共施設に人が集まりやすい
- * 施設の老朽化対策は、災害に強いまちをつくるために必要
- * イベントや災害時に利用できる広場が必要
- * 緑や空の広さを残す、風景の価値を高める
- * 公園への視認性・アクセス性確保のため、図書館敷地の使い方を要検討
- * 公園の魅力が伝わる、行きたいと思うような案内板の設置
- * 歩きたくなる道 など

実現に向けたキーワード

- ◆健康・レクリエーション
- ◆防災・減災
- ◆環境・景観

みどり

まちなかの検討項目に対する様々な考え方・アイデアなど

- * 地元小学生などの作品展示をする（歩きたくなる道を演出）
- * 北口と南口の様々なつながり方（交流など）
- * 買物困難者（高齢者等）は線路を越えるのが大変、一定規模の店舗は必要
- * 駅前が暗く安全性確保のため、通路の脇にフットライトを設置
- * 公園外周に自転車を通れる道があれば、園内・周辺道路の安全確保が可能
- * 朝夕の交通混雑の緩和（自転車路面標示や信号機時間調整等）や公園周辺道路の交通規制（一方通行等）の検討
- * 自転車駐車場の建替え場所（現在地又は移転）及び他の活用の検討
- * 将来のロータリー再整備の必要性 など

実現に向けたキーワード

- ◆文化・地域づくり
- ◆福祉・安全・安心
- ◆利便性（買い物・交通・使いやすさ）

すみやすさ

まちなかの検討項目に対する様々な考え方・アイデアなど

- * 「多世代交流」→「コミュニケーション」→「ゆるやかなつながり」
- * 新たな施設への人流を増やし、にぎわいをつくる
- * 楽しみながらお金を落としてくれるようなまちに見合った店舗
- * 次世代の様々なニーズのために市有地（自転車駐車場、まちセン・公民館跡地）を残す（売却せずに定借など貸付で）
- * 当面はトライアルで利活用
- * 必要な施設整備を行うための財源が必要
- * まちセン・公民館跡地の活用方法の可能性検討（例：何も建てない使い方、自転車駐車場建替え時の仮設駐車場用地等） など

実現に向けたキーワード

- ◆交流・活動・楽しめる
- ◆ニーズ・民間活力・稼ぐ
- ◆既存ストック利活用

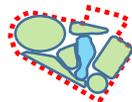
にぎわい

まちのコンセプト

目指していく姿
大切な視点
etc

今後のまちづくり
WGで検討

オープンハウスで使用するパネルのイメージ（あくまでイメージですので、変更する場合があります）



次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり
市民検討会まちづくりWGが考えたまちづくりのコンセプト

1 「淵野辺駅南口周辺のまちづくり」が目指していく姿

キャッチコピー

<大切にしたい視点>

本内容は、第20回まちづくりWG（ワーク2）以降の検討結果を踏まえ、整理していきます。

2 まちづくりの取組のステップ（市の考え方）



3 実現に向けた様々なアイデア（本年度まちづくりWGの議論をデザインマップ化）



<本年度まちづくりWGの議論の経過>

- 第17回テーマ（R4.4.24開催）
『淵野辺駅周辺がどのような場所になってほしいか』についてコンセプトを検討
- 第18回テーマ（R4.5.29開催）
『まちなかの動線（駅南口から鹿沼公園・新たな施設への動線）』などを検討
- 第19回テーマ（R4.6.26開催）
『デザインマップに描かれた「検討が必要な場所」を中心に「どうしていきたいか」「どうやって取り組むか」』などを検討
- 第20回テーマ（R4.7.31開催）
『これまで出た意見やアイデアを振り返り、取り組むべきことをまとめる』など

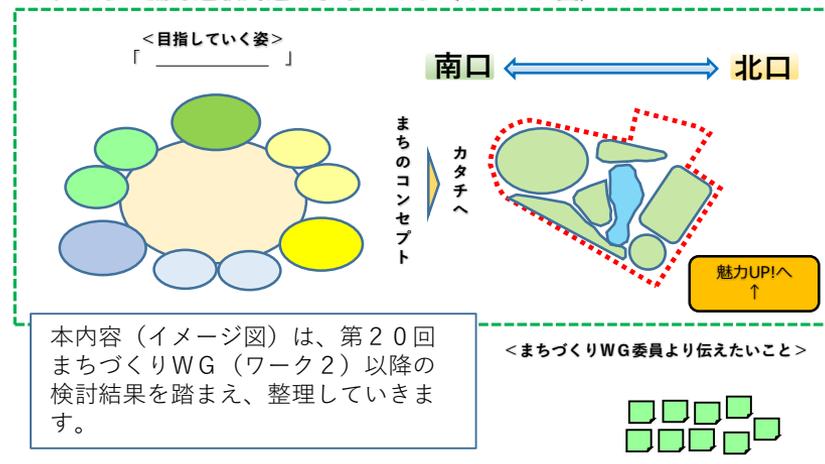
4 実現に向けた様々なアイデア（第20回まちづくりWGで取組内容を整理）

まちなかの検討項目	ソフト的な取組	ハード的な取組
① 駅南口ロータリー付近と自転車駐車場		
② 駅南口から公園までの見通しやアクセスのしやすさ		
③ 駅南口への2つのアクセス道路（渋滞時の歩行者と自転車の混在）		
④ 公園内の通路等の必要性		
⑤ 移動のしやすさを考慮した公園内の新たな出入口の検討		
⑥ 駅南口から見える公園内の工夫（景観形成と新たな出入口の必要性）		
⑦ 大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地		
⑧ 図書館敷地（一部）		

本内容（表）は、第20回まちづくりWG（ワーク1）以降の検討結果を踏まえ、整理していきます。

オープンハウス来場者に大切だと思うアイデアがあったらシールを貼ってもらおう。

5 これからの淵野辺駅周辺のまちづくり（イメージ図）



本内容（イメージ図）は、第20回まちづくりWG（ワーク2）以降の検討結果を踏まえ、整理していきます。

<まちづくりWG委員より伝えたいこと>



ワーク1

【80分】

**「これまで出た意見やアイデアを振り返って、
取り組みたいことをまとめてみよう！」**

1. テーブル上に配置された「まちづくりWG意見集計結果一覧」（A0サイズ）を見ながら、各自、検討項目に対して、追加・補足したい意見やアイデアがある場合は、小グループ内で意見の共有を図りながら、付せんに書き出して、集計結果一覧に貼ります。

※テーブル上（P19）の「集計結果一覧」は1枚（A0サイズ）ですが、本資料ではP13～P15の3枚に分割しています。

※「集計結果一覧」で、「⑱ ○○○……」（第19回まちづくりWGの意見で下線表示有り）は、前回ワークの際に、実現の可能性も考えて「どうしていきたいか」「どうやって取り組むか」などまで検討したものです。

※基本的に意見やアイデアを追加・補足する場合は、前回ワークのように、実現の可能性も考えて「どうしていきたいか」「どうやって取り組むか」などを付せんに書き出してください。

小グループごとのテーブル（ワーク時）

小グループごとのホワイトボード（参考掲示）

まちづくりWG意見集計結果一覧

まちづくりWG意見集計結果（デザインマップ）



ここで整理し、まとめたアイデアは、オープンハウスで使用するパネル（「実現に向けた様々なアイデア」など）に反映していきます！

新たに意見・アイデアを「追加」したい場合（集計結果一覧に無い場合）

- ・「どうしていきたいか」
 - ・「どうやって取り組むか」
 - ・「実現のためのポイント」
- を書き出す

水色の付せんを使う

集計結果一覧の中の意見・アイデアを「補足」したい場合

- ・「どうやって取り組むか」
 - ・「実現のためのポイント」
- を書き出す

黄色の付せんを使う

2. まちづくりWG全体で意見の共有を図るため、小グループごとに、集計結果一覧を指し示しながら発表します。

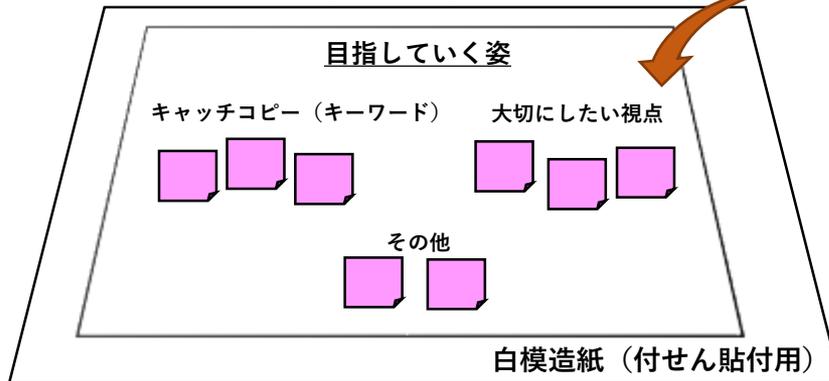
ワーク2

【50分】

「まとめのイメージを共有し、意見を出し合おう！」

1. ワーク1を踏まえ、オープンハウスで使用するパネルの内容（まとめ）について、本資料P16～P17を参照し、小グループ内でイメージを共有の上、目指していく姿（キャッチコピーや大切にしたい視点）などについて、意見を出し合います。

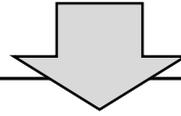
小グループごとのテーブル（ワーク時）



パネルのイメージをみんなで共有しながら、小グループ内で付せんに書き出して、フリートークで意見を出し合おう！



2. まちづくりWG全体で意見の共有を図るため、小グループごとに、貼付された付せんに指し示しながら発表します。



最後にワーク1、ワーク2のまとめとして、事務局から本日の検討結果の確認（発表）を行います。

～まちづくりWGの終了～

【計130分】



本日の市民検討会終了

【全体会について】

本日のまちづくりWGの結果は、次回の市民検討会（全体会）で発表する予定です。



～次回のまちづくりWGの検討内容について～

オープンハウスで使用するパネルを仕上げていきます。とりまとめに向けて、皆さんと一緒に「カタチ」にしていきましょう！